

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。
【施策群名】	1-1 親子の健康確保
【施策名】	101 妊産婦保健の充実 【重点施策】□
【現状と課題】	周産期医療体制の整備や様々な母子保健施策の推進により、本市の周産期死亡率は秋田県、全国よりも低い数値で推移しており、妊産婦を取り巻く母子保健水準は高くなっています。 特に、妊婦健康診査の公費負担回数については、15年度より妊婦一般健康診査を7回に、21年度からはさらに14回に拡充し、妊婦の健康管理の充実および妊婦健康診査に伴う経済的負担の軽減を図っています。 次世代育成支援に関するニーズ調査結果を15年度調査結果と比較すると、妊娠・出産・育児の不安への対応および妊娠中の受動喫煙への配慮について満足の人割合が増加しました。また、保健所で行っている各種教室や訪問指導事業の認知度は、9割以上と高い割合となっています。 しかしながら、若年妊婦、晩婚化に伴う高齢妊婦、多胎児、未熟児、さらに精神面での支援を要する母親等の、支援を要するケースは年々増加しており、支援の充実が求められています。 このため、生涯にわたり健全な子どもが育つよう、妊娠・出産・産後の時期における支援体制を強化していく必要があります。
【施策の目標】	安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくりに努めます。
【対応】	母子の心身の健康づくりのため妊婦健康診査を実施するとともに、不安なく子育てができるよう妊娠中から産後まで継続的に訪問指導および健康教育・健康相談等を実施します。
【施策の目標指標】	＜指標＞ ニーズ調査(就学前)「妊娠・出産・育児に満足している人」の割合 ＜20年度実績値＞ 85.6% ＜26年度目標値＞ 100%
【主管課所室】	254000 子ども未来部 00子ども健康課
【関係課所室】	市立病院総務課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1011 【取組・事業名】 妊婦健康診査

【事業概要】 妊婦一般健康診査等を実施する。

【事業の目標】 妊婦の疾病の早期発見、早期治療を促進し、妊婦の健康管理の向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ①ニーズ調査(就学前)「妊娠・出産・育児についての不安への対応に満足している人」の割合
②妊婦健康診査受診率 <20年度実績値> ①85.6% ②95.2% <26年度目標値> ①増加 ②100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	209,225 千円	②	妊婦一般健康診査14回、妊婦歯科健康診査1回
■ 23	205,561 千円	②85%	妊婦一般健康診査14回、妊婦歯科健康診査1回
■ 24	205,561 千円	②90%	妊婦一般健康診査14回、子宮頸癌検査1回、妊婦 歯科健康診査1回
■ 25	205,561 千円	②95%	妊婦一般健康診査14回、子宮頸癌検査1回、妊婦 歯科健康診査1回
■ 26	205,561 千円	①増加②100%	妊婦一般健康診査14回、子宮頸癌検査1回、妊婦 歯科健康診査1回

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	209,211千円	198,114千円	妊婦健康診査受診率99.6%	H23.4.1以降の妊娠届け者から妊婦健診受診票 が異なるため、妊婦に混乱が生じないよう医療 機関と十分に連携を図る。
23	210,032千円	206,804千円	妊婦健康診査受診率93.5%	子宮頸がん検査・クラミジア検査追加
24	207,099千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1012 【取組・事業名】 妊産婦・新生児および未熟児訪問指導

【事業概要】 支援が必要な妊産婦・新生児や訪問希望のある者等に対し、助産師や保健師が訪問し、妊娠・出産・育児に関する助言、指導等を行う。

【事業の目標】 母体の保護、新生児等の健全育成および養育困難家庭の支援に努めます。

【事業の目標指標】 <指標> ニーズ調査(就学前)「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間のある母親」の割合
<20年度実績値> 77.3% <26年度目標値> 増加

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	1,466 千円		妊産婦、新生児等への訪問
■ 23	1,114 千円		妊産婦、新生児等への訪問
■ 24	1,114 千円		妊産婦、新生児等への訪問
■ 25	1,114 千円		妊産婦、新生児等への訪問
■ 26	1,114 千円	増加	妊産婦、新生児等への訪問

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☒ ☒ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 0 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	1,406千円	1,076千円	①妊婦(延べ)25人②産婦(延べ)261人③新生児・未熟児(延べ)274人	医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
23	1,174千円	1,085千円	①妊婦(延べ)29人②産婦(延べ)227人③新生児・未熟児(延べ)241人	医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健サービスについて医療機関に周知する。
24	1,039千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1013 【取組・事業名】 両親学級

【事業概要】 妊婦およびその配偶者を対象に、赤ちゃんのお風呂の入れ方や抱き方の体験学習、助産師による講話等を行う。

【事業の目標】 子どもを生み育てる心を育み、子育てを男女が共同して行うことができるよう妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ①ニーズ調査(就学前)「育児に参加する父親」の割合 ②ニーズ調査(就学前)「育児に不安や負担感を感じている母親」の割合 <20年度実績値> ①86.8% ②76.5% <26年度目標値> ①増加 ②減少

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	70 千円		妊婦およびその配偶者を対象に、学級の開催
■ 23	70 千円		妊婦およびその配偶者を対象に、学級の開催
■ 24	70 千円		妊婦およびその配偶者を対象に、学級の開催
■ 25	70 千円		妊婦およびその配偶者を対象に、学級の開催
■ 26	70 千円	①95%②84%	妊婦およびその配偶者を対象に、学級の開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☒ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	84千円	70千円	年5回 土曜の午後開催 参加者 妊婦150人 夫 149人	体験学習、情報提供の充実を図る
23	83千円	83千円	年5回 土曜日の午後開催 参加 者 妊婦157人 夫151人	体験学習、情報提供の充実を図る
24	77千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1014 【取組・事業名】 若年妊産婦のつどい

【事業概要】 10代で妊娠した妊産婦の育児不安の軽減を図るため、妊産婦同士の交流や個別相談を行う。

【事業の目標】 地域で孤立しがちな若年妊産婦の育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ①参加者数 ②事業アンケート「参加者の満足度」 <20年度実績値> ①30人 ②75.9%
<26年度目標値> ①若年妊婦(訪問者)全員 ②100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	41 千円	①13人②77%	若年妊産婦対象のつどい開催
■ 23	35 千円	①15人②80%	若年妊産婦対象のつどい開催
□ 24	35 千円	①21人②90%	若年妊産婦対象のつどい開催
□ 25	35 千円	①22人②95%	若年妊産婦対象のつどい開催
□ 26	35 千円	①30人②100%	若年妊産婦対象のつどい開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	41千円	41千円	年5回開催 参加者数:妊婦1人 産婦12人 (乳幼児)13人	参加を促すため、事業前の電話かけを実施していく。
23	33千円	28千円	年3回開催 参加者数:妊婦1人、産婦3人、乳幼児3人	訪問時に事業の紹介や事業前の電話かけを実施するも、ネットを通じたりと独自の交流がされており、本事業への要望は少なかった。今後は妊産婦相談に参加を促したり、個別相談に応じていく。
24	0千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1015 【取組・事業名】 妊産婦相談

【事業概要】 育児不安の軽減を図るため、妊産婦の体や心の変化に関する知識の提供、個別相談および参加者同士の交流を行う。

【事業の目標】 妊産婦の育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 参加者数 <20年度実績値> 79人 <26年度目標値> 120人

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	69 千円	80人	妊産婦を対象とした妊産婦相談の開催
■ 23	75 千円	90人	妊産婦を対象とした妊産婦相談の開催
■ 24	75 千円	100人	妊産婦を対象とした妊産婦相談の開催
■ 25	75 千円	110人	妊産婦を対象とした妊産婦相談の開催
■ 26	75 千円	120人	妊産婦を対象とした妊産婦相談の開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	74千円	69千円	11回実施 参加者82人	管理ケースのフォローを実施する
23	60千円	60千円	12回実施 参加者101人	管理ケースのフォローを実施する。 若年妊産婦等、若い世代の母たちが、交流できるような開催方法を検討した。
24	60千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 91450 市立病院 50総務課

【取組・事業No.】 1016 【取組・事業名】 母乳外来

【事業概要】 出産後の母親を対象に、助産師がマンツーマンで乳房マッサージなどの母乳ケアや育児相談を行う。

【事業の目標】 母親の乳房の状態に応じた母乳ケアの指導や育児相談を行うことにより、母乳育児を支援します。

【事業の目標指標】 <指標> 母乳外来年間延べ利用者数 <20年度実績値> 224人 <26年度目標値> 200人

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ho/newwho/bonyuu.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	203人	毎週火・木曜日の午後に予約制で実施
■ 23	0 千円	200人	毎週火・木曜日の午後に予約制で実施
■ 24	0 千円	200人	毎週火・木曜日の午後に予約制で実施
■ 25	0 千円	200人	毎週火・木曜日の午後に予約制で実施
■ 26	0 千円	200人	毎週火・木曜日の午後に予約制で実施

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☒ ☐ ☒ ☐ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 1 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	22年度母乳外来年間延べ利用者数 203人	22年度の年間延べ利用者数は目標の200人を何とかクリアした。 しかしながら、現在、母乳外来を担当する産婦人科外来および産婦人科病棟の人員や勤務時間等の都合により、利用対象を当院で出産した母親に限定しており、これ以上利用者数を増加させることは困難な状況である。 23年度は、当院で出産する妊婦から出産後に母乳外来を利用してもらえるよう、出産前後のきめ細やかな対応に努めていく。
23	0千円	0千円	23年度母乳外来年間延べ利用者数 176人	23年度の年間延べ利用者数は、目標の200人をやや下回った。 依然、利用対象を当院で出産した母親に限定せざるを得ない状況であることから、24年度は、引き続き当院で出産する妊婦に対するきめ細やかな対応と母乳外来の周知に努める。
24	0千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。
【施策群名】	1-1 親子の健康確保
【施策名】	102 乳幼児保健の充実 【重点施策】■
【現状と課題】	依然少子化傾向が続く中、地域のつながりが希薄になったことによる子育て家庭の孤立化、就労女性の増加に伴う母親への過重な育児負担、育児情報の氾濫等、子育て家庭を取り巻く環境はますます厳しくなっています。 このような背景から、育児不安や育児ストレス等を抱える親は今後も増えていくことが予想され、親が不安なく子育てできるような養育環境の整備が必要となっています。 次世代育成支援に関するニーズ調査結果では、乳幼児健康診査の満足度が、15年度と比較すると全ての健診において高まっています。このことは、子どもの疾病の早期発見・早期治療に加え、近年、乳幼児健康診査の機会を捉えた育児支援を強化してきた成果と考えられ、引き続き乳幼児健康診査の質の維持向上に努めていきます。 また、本市のむし歯罹患率は年々低下しているものの、他中核市との比較においては依然下位にあることから、幼児のむし歯予防対策について、強化していく必要があります。
【施策の目標】	子どもたちが心身ともに健やかに成長するよう、疾病等の予防、早期発見・早期治療に努めるとともに、より望ましい養育環境を確立できるよう支援します。
【対応】	乳幼児健康診査により、疾病等の予防、早期発見・早期治療および親の育児サポートを行います。 また、各種健康教育により母子保健情報の提供を図るとともに、必要な家庭に支援を行います。
【施策の目標指標】	＜指標＞ ①ニーズ調査(就学前)「話し相手や相談相手のいない母親」の割合 ②3歳児健診むし歯罹患率 <20年度実績値> ①7.0% ②35.0% <26年度目標値> ①減少 ②全国罹患率以下
【主管課所室】	254000 子ども未来部 00子ども健康課
【関係課所室】	

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1021 【取組・事業名】 乳幼児健康診査

【事業概要】 乳児(4か月児、7か月児、10か月児)、幼児(1歳6か月児、2歳児歯科、3歳児)を対象に健康診査を行う。

【事業の目標】 心身ともに健全な発育を助長し、健康の増進を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ①ニーズ調査(就学前)乳幼児健診満足者の割合 ②乳幼児健診受診率 <20年度実績値>
①91.0% ②92.5% <26年度目標値> ①100% ②100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	65,080 千円	①93.0%②95.0%	乳児(4・7・10か月)と2歳歯科は市内委託医療機関で 通年、幼児(1歳6か月と3歳児)は集団で毎月実施各 年間52回
■ 23	71,723 千円	①94.0%②96.0%	乳児(4・7・10か月)と2歳歯科は市内委託医療機関で 通年、幼児(1歳6か月と3歳児)は集団で毎月実施各 年間52回
■ 24	71,723 千円	①95.0%②97.0%	乳児(4・7・10か月)と2歳歯科は市内委託医療機関で 通年、幼児(1歳6か月と3歳児)は集団で毎月実施各 年間52回
■ 25	71,723 千円	①97.0%②98.0%	乳児(4・7・10か月)と2歳歯科は市内委託医療機関で 通年、幼児(1歳6か月と3歳児)は集団で毎月実施各 年間52回
■ 26	71,723 千円	①100.0%②100.0%	乳児(4・7・10か月)と2歳歯科は市内委託医療機関で 通年、幼児(1歳6か月と3歳児)は集団で毎月実施各 年間52回

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0歳～3歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	73,937千円	65,080千円	乳児健康診査(委託医療 機関28か所)4か月児 2234人(98.0%)7か月児 2296人(97.0%)10か月児 2278人(96.0%)1歳6か月児 2308人(96.8%)3歳児 2344人(96.2%) 2歳児歯科1837人(74.2%)	未受診者対策の強化を図った。4か月児健診未 受診に加え、7か月および10か月児健診未受診 者への訪問等、1歳10か月および3歳9か月時点 での受診勧奨を実施した。
23	71,866千円	70,742千円	乳児健康診査(委託医療 機関27か所)4か月児 2189人(97.2%)7か月児 2216人(96.8%)10か月児 2197人(95.1%)1歳6か月児 2340人(97.6%)3歳児 2429人(95.9%) 2歳児歯科1802人(74.8%)	未受診者対策を継続して行った。また気になる 子どもの早期把握のため、幼児発達記録票を 作成し、4公立保育所の4歳児で試行活用実施 した。平成24年度は全公立保育所に拡大し活 用方法を検討する。
24	73,266千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1022 【取組・事業名】 経過観察クリニック「わいわいDay」

【事業概要】 1歳6か月児健康診査等で精神行動発達での経過観察が必要になった幼児を対象に、専門職による観察や発達状況の評価および適切な養育支援を行う。

【事業の目標】 精神行動発達で支援が必要な幼児に、適切な対応を行い、健やかな成長発達を促します。

【事業の目標指標】 <指標> 対象者の参加率 <20年度実績値> 64.8% <26年度目標値> 100.0%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	709 千円	68.0%	経過観察クリニックの開催
■ 23	764 千円	75.0%	経過観察クリニックの開催
■ 24	764 千円	83.0%	経過観察クリニックの開催
■ 25	764 千円	93.0%	経過観察クリニックの開催
■ 26	764 千円	100.0%	経過観察クリニックの開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 1 歳～ 3 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	764千円	709千円	概ね月1回開催年11回 対象者 98人 参加者 65人 (参加率 66.3%)	
23	476千円	476千円	概ね月1回開催年9回 対象者 82人 参加者 56人 (参加率 68.3%)	養育面のフォローが必要なケースについては、関係機関と連携を図り支援していく。
24	535千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1023 【取組・事業名】 養育指導教室「くまちゃんクラブ」

【事業概要】 幼児健康診査等で行動や養育上の問題で養育支援が必要と認められた幼児および保護者を対象に、幼児の発達状況に応じた適切な養育支援を行う。

【事業の目標】 対象児の発達を促すとともに、保護者等の育児不安の軽減を図り、良好な養育環境がつくられるよう努めます。

【事業の目標指標】 <指標> 対象者の参加率 <20年度実績値> 73.3% <26年度目標値> 100%

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	206 千円	80.0%	養育指導教室の開催
■ 23	236 千円	85.0%	養育指導教室の開催
■ 24	236 千円	90.0%	養育指導教室の開催
■ 25	236 千円	95.0%	養育指導教室の開催
■ 26	236 千円	100.0%	養育指導教室の開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 2 歳～ 6 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	236千円	206千円	5月～2月までの毎月1回開催10回 対象者(延べ)54人参加者(延べ)48人参加率 88.9%	発達障害への対応も含め、教室内容の検討を図る
23	444千円	382千円	3回コース年11回開催。 対象者(延べ)46人参加者(延べ)37人参加率 80.4% 個別相談会年2回(11月・1月)開催 対象者(延べ)6人参加者(延べ)6人参加率 100%	H23年度より、3歳児健診以降の支援の強化のため、対象児を3歳児健診の事後とした。また、発達を適正に評価しアドバイスするため小児科医、臨床心理士による専門相談を設けるとともに、幼児発達記録票を利用した個別相談会を年2回実施した。
24	482千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1024 【取組・事業名】 健康教育・健康相談

【事業概要】 市主催の各種事業で健康教育・健康相談を実施するほか、地域の要望に応じて実施する。

【事業の目標】 乳幼児の健康に関する知識について、普及啓発を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ニーズ調査(就学前)「話し相手や相談相手のいない母親」の割合 <20年度実績値> 7.0%
<26年度目標値> 減少

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	591 千円		子ども健康課事業および地区からの要請に応じて実施
■ 23	660 千円		子ども健康課事業および地区からの要請に応じて実施
■ 24	660 千円		子ども健康課事業および地区からの要請に応じて実施
■ 25	660 千円		子ども健康課事業および地区からの要請に応じて実施
■ 26	660 千円	減少	子ども健康課事業および地区からの要請に応じて実施

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ (祖父母等や地域で子育て支援スタッフ)
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 5 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	591千円	557千円	健康教育 40回 1531人 健康相談 40回 233人	地域からの要望を重視したテーマを取り入れ実施する。 (予算・決算額は総事業費の内数)
23	29千円	18千円	健康教育 39回 873人 健康相談 36回 317人	保健予防課地区担当保健師との連絡調整を図りながら実施する。
24	34千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1025 【取組・事業名】 母子の訪問指導

【事業概要】 乳幼児健康診査未受診者や支援が必要となった乳幼児、必要と認められた乳幼児に対し、訪問指導を行う。

【事業の目標】 子どもの心身の健やかな発達や親の育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ニーズ調査(就学前)「子育てに自身の持てない親」の割合 <20年度実績値> 17.0% <26年度目標値> 減少

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円		母子の訪問指導
■ 23	0 千円		母子の訪問指導
■ 24	0 千円		母子の訪問指導
■ 25	0 千円		母子の訪問指導
■ 26	0 千円	減少	母子の訪問指導

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 4 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	4か月児健診未受診児 12人 乳幼児健診等で健康面や 養育面の支援が必要とさ れた乳幼児 93人	医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健 サービスについて医療機関に周知する。
23	0千円	0千円	乳幼児健診未受診児 26人 乳幼児健診等で健康面や 養育面の支援が必要とさ れた乳幼児 87人	医療機関と連携が図られるよう、妊産婦保健 サービスについて医療機関に周知する。
24	0千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1026 【取組・事業名】 むし歯予防教室

【事業概要】 幼児とその保護者を対象に歯磨きの実技指導、食生活についての講話、個別相談などを行う。

【事業の目標】 実技指導や講話を通し、保護者が適切なむし歯予防方法を習得し、実践できるよう支援します。

【事業の目標指標】 <指標> ①秋田市と全国平均との3歳児むし歯罹患率の差 ②事業アンケート「理解度」 <20年度実績値> ①+9.7ポイント ②99.3% <26年度目標値> ①0ポイント ②100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	134 千円	①9.7ポイント ②99.3%	1歳児およびその保護者を対象にむし歯予防教室の開催
■ 23	148 千円	①7ポイント	1歳児およびその保護者を対象にむし歯予防教室の開催
■ 24	148 千円	①5ポイント	1歳児およびその保護者を対象にむし歯予防教室の開催
■ 25	148 千円	①3ポイント	1歳児およびその保護者を対象にむし歯予防教室の開催
■ 26	148 千円	①0ポイント ②100%	1歳児およびその保護者を対象にむし歯予防教室の開催

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☒ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☒ ()
<子どもの対象年齢> 0 歳～ 3 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	148千円	134千円	①7.17ポイント ②99.3% 医師編1回 61組参加 歯科衛生士編17回456組 459人参加	むし歯予防に関する保護者のニーズを把握し、講座内容の充実を図る。
23	190千円	127千円	①— ②99.8% 医師編2回 60組参加 歯科衛生士編12回280組 280人参加	むし歯予防に関する保護者のニーズを把握し、講座内容の充実を図る。
24	148千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1027 【取組・事業名】 乳幼児健康教育相談

【事業概要】 乳幼児の保護者を対象に、ニーズを踏まえた内容での講話や実技指導を行う。

【事業の目標】 育児に関する知識の普及により、育児能力の向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ①ニーズ調査(就学前)「病気や発育・発達に関する悩みをもつ親」の割合 ②事業アンケート「講座の満足度」 <20年度実績値> ①34.4% ②87.2% <26年度目標値> ①減少 ②増加

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	70 千円		講座の開催
■ 23	70 千円		講座の開催
■ 24	70 千円		講座の開催
■ 25	70 千円		講座の開催
■ 26	70 千円	①減少②増加	講座の開催

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☒ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0 歳～ 0 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	84千円	70千円	医師編1回35組保護者 36人乳幼児36人参加 救命救急士編3回63組保 護者69人乳幼児61人参加	参加者の増加を図るため、会場やPR方法を検討する。
23	79千円	79千円	医師編1回15組保護者 16人乳幼児15人付き添い 1人参加	平成23年度は乳幼児期の事故予防について講座を開催した。参加者の増加を図るため、内容について検討する。
24	78千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1028 【取組・事業名】 育児相談

【事業概要】 乳幼児およびその保護者を対象に、毎月1回の定期相談および随時対応により、保健師、栄養士、歯科衛生士が育児相談、食生活相談、歯科相談等を行う。

【事業の目標】 適切な指導や助言により、乳幼児の健全な発育・発達の促進および育児不安の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ①ニーズ調査(就学前)「話し相手や相談相手のいない人」の割合 ②相談人数 <20年度実績値> ①7.0% ②56人 <26年度目標値> ①減少 ②相談希望者に対応する

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	5 千円	②相談希望者に対応	個別面談による育児相談
■ 23	5 千円	②相談希望者に対応	個別面談による育児相談
■ 24	5 千円	②相談希望者に対応	個別面談による育児相談
■ 25	5 千円	②相談希望者に対応	個別面談による育児相談
■ 26	5 千円	①0%②相談希望者に対応	個別面談による育児相談

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	5千円	5千円	月1回実施 乳幼児(延べ)56人	PRを強化する。
23	0千円	0千円	月1回実施 乳幼児(延べ)45人	PRを強化する。
24	0千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1029 【取組・事業名】 秋田市親子よい歯のコンクール

【事業概要】 3歳児健康診査での歯科健康診査において、むし歯に罹患していない幼児およびその保護者を表彰する。

【事業の目標】 幼児歯科保健の普及啓発を図り、乳幼児のむし歯罹患率の低下に努めます。

【事業の目標指標】 <指標> 秋田市と全国平均との3歳児むし歯罹患率の差 <20年度実績値> +9.7ポイント <26年度目標値> 0ポイント

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	77 千円	①9.7ポイント	3歳児健康診査(歯科健康診査)を受けた幼児およびその保護者を対象に審査を行い表彰する。
■ 23	77 千円	①7ポイント	3歳児健康診査(歯科健康診査)を受けた幼児およびその保護者を対象に審査を行い、表彰する。
■ 24	77 千円	①5ポイント	3歳児健康診査(歯科健康診査)を受けた幼児およびその保護者を対象に審査を行い、表彰する。
■ 25	77 千円	①3ポイント	3歳児健康診査(歯科健康診査)を受けた幼児およびその保護者を対象に審査を行い、表彰する。
■ 26	77 千円	①0ポイント	3歳児健康診査(歯科健康診査)を受けた幼児およびその保護者を対象に審査を行い、表彰する。

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 3 歳 ~ 4 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	78千円	77千円	①7.17ポイント 15組参加し、県大会に1組選考。	対象者の抽出方法を検討する。
23	70千円	70千円	①ー 9組参加し、県大会に1組選考。	一次審査として、3歳児健診時にむし歯がないと自己申告があった保護者の口腔審査を行う。
24	70千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 102-10 【取組・事業名】 こんにちは赤ちゃん訪問事業

【事業概要】 生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する助言、情報提供や状況に応じた育児サービス紹介等を行う。

【事業の目標】 産後間もない時期に訪問し、育児不安の軽減と適切な支援を行います。

【事業の目標指標】 <指標> ①ニーズ調査(就学前)「子育てに関しての不安や負担を感じている親」の割合 ②訪問実施率
<20年度実績値> ①76.5% ②77.1% <26年度目標値> ①減少 ②100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	6,479 千円	②80%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 23	6,433 千円	②85%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 24	6,433 千円	②90%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 25	6,433 千円	②95%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 26	6,433 千円	①減少100%	対象児のいる家庭の全戸訪問

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 0 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	6,433千円	6,479千円	訪問実施者数(実施率) 1,885人(81.7%)	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
23	6,749千円	6,692千円	訪問実施者数(実施率) 1,978人(84.2%)	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
24	7,385千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 102-11 【取組・事業名】 親サポート事業

【事業概要】 7か月児、1歳6か月児健康診査において、保護者の心身の健康状態や養育環境等をアンケートにより把握し、育児不安や悩みを抱える保護者に対して必要な助言、指導を行う。

【事業の目標】 親の育児不安や育児ストレス等を未然に防ぎ、安心して子育てができるよう育児支援の充実を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> ニーズ調査「子育てに関しての不安感や負担感を感じている親」の割合 <20年度実績値> 76.5% <26年度目標値> 減少

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	132 千円		子育てアンケートにより必要な助言指導を行う
■ 23	133 千円		子育てアンケートにより必要な助言指導を行う
■ 24	133 千円		子育てアンケートにより必要な助言指導を行う
■ 25	133 千円		子育てアンケートにより必要な助言指導を行う
■ 26	133 千円	減少	子育てアンケートにより必要な助言指導を行う

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	132千円	132千円	7か月児健診回答数 2,266人支援有り13人 1歳6か月児健診2,300人支援有り100人	事業の効果を検証する。
23	132千円	132千円	7か月児健診回答数 2,187人支援有り13人 1歳6か月児健診2,333人支援有り100人(見込み)	事業の効果を検証する。
24	84千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。
【施策群名】	1-1 親子の健康確保
【施策名】	103 予防接種の充実 【重点施策】□
【現状と課題】	保護者の予防接種に対する意識も高まってきており、年々乳幼児の接種率は向上してきていますが、学校で実施してきた二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種については、20年度から個別接種に変えたことにより、接種率が下がったものもあります。 また、同じく20年度から実施した麻しん風しん3期4期についても接種率が伸びないことや、日本脳炎予防接種については、17年度以降原則中止にしていたことで、未接種者が増大している現状にあります。こうした方への接種の促進が課題となっています。
【施策の目標】	予防接種は、伝染性のおそれがある疾病の発生およびまん延を予防するだけではなく、個人の発病又はその重症化を防止するものでもあるので、子どもの健康づくりのためにも、予防接種に対する保護者の認識を高めていくとともに、接種の促進に努めてまいります。
【対応】	保育所、学校等を通じての保護者の関心・知識の普及に努めるなど、周知を徹底します。
【施策の目標指標】	＜指標＞ 予防接種率（伝染性の疾病を排除するためには、95%以上の予防接種率が必要） ＜20年度実績値＞ 麻しん風しん2期98.6%、3期93.4%、4期84.2%、二種混合76.1% ※その他の予防接種については対象が年齢でくぎられていることや、接種回数も複数回になることなどで正確な接種率を算出することはできないが、乳児健診時の母子手帳による接種歴の確認からの接種率は、BCGが99%で三種混合、ポリオについてもほとんど接種している状況である。 ＜26年度目標値＞ 接種率95%
【主管課所室】	208500 保健所 85健康管理課
【関係課所室】	

取組・事業検証シート

【部局課所室】 208500 保健所 30健康管理課

【取組・事業No.】 1031 【取組・事業名】 予防接種事業

【事業概要】 予防接種法に基づき、乳幼児、児童、中高校生に対し定期予防接種を行う。

【事業の目標】 予防接種は努力義務であって、強制するものではありませんが、保護者には予防接種に対する認識を高めてもらえるよう啓発していきます。

【事業の目標指標】 <指標> 伝染性の疾病を排除するためには、95%以上の予防接種率が必要であることから、すべての予防接種率95パーセントを目標とする。 <20年度実績値> 麻しん風しん2期98.6%、3期93.4%、4期84.2%、二種混合76.1% <26年度目標値> 予防接種率95%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/hm/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	328,807 千円	92.2%	定期予防接種の実施
■ 23	392,655 千円	93.0%	〃
■ 24	340,285 千円	93.7%	〃
■ 25	340,285 千円	94.4%	〃
■ 26	340,285 千円	95.0%	〃

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☒ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0 歳～ 13 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	472,877千円	328,807千円	定期予防の実施	予防接種未接種者には、個別通知により接種を呼びかけているが、「麻しん・風しん予防接種のリーフレット」を作成し、集団予防接種時および医療機関等で配布し、接種率向上を図る。
23	442,655千円	374,938千円	麻しん風しん2期98.9%、3期94.7%、4期88.5% 平均接種率94%	予防接種未接種者に対し、個別通知より接種を呼びかけた。また、夏休み、冬休みには「広報あきた」で接種を勧奨した。
24	371,416千円	千円		〃
25	371,416千円	千円	〃	〃
26	371,416千円	千円	〃	〃

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。
【施策群名】	1-1 親子の健康確保
【施策名】	104 小児医療等体制の整備 【重点施策】□
【現状と課題】	小児慢性特定疾患治療研究事業および未熟児養育医療給付事業への申請が増加傾向にあることから、治療が必要な子どもに対し、適正な医療を継続して提供していく必要があります。 また、特定不妊治療については医療保険が適応されず医療費が高額なため、引き続き特定不妊治療費助成事業により経済的負担の軽減を図っていく必要があります。 夜間休日応急診療所の運営においては、小児科医が常時診察している診療所という認識が市民に十分に浸透していないので、より周知を図る必要があります。
【施策の目標】	医療費の負担軽減を図り、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を進めます。
【対応】	医療費を助成します。
【施策の目標指標】	＜指標＞「病気や発育・発達に関すること」に悩んでいる人、特に不安に思っている人の割合 ＜20年度実績値＞ 34.4%（就学前児童）23.9%（小学校児童） ＜26年度目標値＞ 減少
【主管課所室】	207500 保健所 10保健総務課
【関係課所室】	障がい福祉課、子ども健康課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 207500 保健所 10保健総務課

【取組・事業No.】 1041 【取組・事業名】 夜間休日応急診療所運営事業

【事業概要】 夜間や休日に小児の救急患者に対応するため、小児科、耳鼻科を有する応急診療所を秋田市医師会の協力により運営する。

【事業の目標】 夜間休日応急診療所の運営により、夜間や休日における医療を確保します。

【事業の目標指標】 <指標> 夜間休日応急診療所の認知率 <20年度実績値> — <26年度目標値> 100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/mn/clinic/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	75,372 千円	—	PRカードを作成し、母子手帳配布時に配布。広報あきた等によりPRに努める。
■ 23	73,438 千円	—	PRカードを作成し、母子手帳配布時に配布。広報あきた等によりPRに努める。
■ 24	73,438 千円	—	PRカードを作成し、母子手帳配布時に配布。広報あきた等によりPRに努める。
■ 25	73,438 千円	—	PRカードを作成し、母子手帳配布時に配布。広報あきた等によりPRに努める。
■ 26	73,438 千円	100%	PRカードを作成し、母子手帳配布時に配布。広報あきた等によりPRに努める。

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0 歳～ 15 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	86,463千円	75,372千円	利用者総数 6,198人 夜間 4,111人 (小児科 3,134人、耳鼻咽喉科 977人) 休日 2,087人(小児科) 在宅診療 290人(眼科)	診療所の利用者数は年々減少しており、平成21年度は新型インフルエンザの流行により、利用者数が前年比1,058人増加したが、平成22年度は前年比1,443人減で、平成20年度と比較しても385人減と減少傾向が続いている。
23	75,699千円	75,257千円	利用者総数6,665人 夜間4,286人(小児科 3,383人、耳鼻咽喉科 903人)休日2,379人(小児科2,379人) 在宅診療319人(眼科)	小児救急体制等の充実を図るため、夜間休日応急診療所のあり方について検討を行った。
24	71,543千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 202000 福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No.】 1042 【取組・事業名】 乳幼児医療費の助成

【事業概要】 医療費の心配をあまりせずに乳幼児に必要な医療が受けられるようにするため、就学前の乳幼児に係る医療費の自己負担分を助成する。

【事業の目標】 対象となる乳幼児に係る医療費に対し、もれなく適正かつ迅速に助成します。

【事業の目標指標】 <指標> 申請に基づく受給者数 <20年度実績値> 12,373人 <26年度目標値> 申請に基づく受給

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/sc/fukushi2.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	367,278 千円	12,073人	医療費の自己負担分を助成する。
■ 23	386,321 千円	申請に基づく受給者 数	医療費の自己負担分を助成する。
■ 24	383,995 千円	申請に基づく受給者 数	医療費の自己負担分を助成する。
■ 25	383,995 千円	申請に基づく受給者 数	医療費の自己負担分を助成する。
■ 26	383,995 千円	申請に基づく受給者 数	医療費の自己負担分を助成する。

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0 歳～ 6 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	375,848千円	367,278千円	12,073人に医療費の助成を実施した。	所得制限の撤廃や対象年齢の引き上げについて要望がある。 市単独での制度拡充には大幅な事業費の増加が見込まれるため、県に対しては制度の拡充を、また国に対しては医療費無料化制度の創設を要望している。
23	386,321千円	366,040千円	11,840人に医療費の助成を実施した。	県は、平成24年8月1日からの制度拡充を決めたが、本市では拡充内容や実施時期について未定であり、検討中である。
24	383,995千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1043 【取組・事業名】 未熟児養育事業(医療の給付)

【事業概要】 入院医療を必要とする未熟児に対し医療の給付を行う。

【事業の目標】 医療費を助成し、負担の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 給付人数 <20年度実績値> 174人 <26年度目標値> 申請に基づき給付する

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	26,104 千円	257件	医療の給付
■ 23	25,197 千円	257件	医療の給付
■ 24	25,355 千円	申請に基づく給付人数	医療の給付
■ 25	25,355 千円	申請に基づく給付人数	医療の給付
■ 26	25,355 千円	申請に基づく給付人数	医療の給付

【事業対象の区分】 子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 0 歳 ~ 1 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	27,274千円	26,104千円	257件(120人)	
23	30,334千円	27,834千円	257件(127人)	
24	25,355千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1044 【取組・事業名】 小児慢性特定疾患治療研究事業

【事業概要】 小児慢性特定疾患に罹患している18歳未満の児童(継続の場合20歳到達まで)に対し、医療費の給付を行う。
また、日常生活の便宜を図るため、日常生活用具の給付を行う。

【事業の目標】 医療費を助成し、負担の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 医療券交付人数 <20年度実績値> 398人 <26年度目標値> 申請に基づき給付する

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	79,255 千円	398件	医療給付、日常生活用具給付
■ 23	80,492 千円	398件	医療給付、日常生活用具給付
■ 24	71,995 千円	申請に基づく医療券 交付人数	医療給付、日常生活用具給付
■ 25	71,995 千円	申請に基づく医療券 交付人数	医療給付、日常生活用具給付
■ 26	71,995 千円	申請に基づく医療券 交付人数	医療給付、日常生活用具給付

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	83,158千円	79,255千円	受診券交付398件 (391人) 日常生活用具給付数1件	
23	80,492千円	73,770千円	受診券交付401件 (393人)	
24	71,995千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1045 【取組・事業名】 特定不妊治療費助成事業

【事業概要】 特定不妊治療に要した費用を助成する。

【事業の目標】 費用を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 助成者数 <20年度実績値> 延べ130人 <26年度目標値> 申請に基づき助成する

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	25,258 千円	延べ184人	医療費の一部助成
■ 23	29,746 千円	申請に基づく助成者 数	医療費の一部助成
■ 24	29,746 千円	申請に基づく助成者 数	医療費の一部助成
■ 25	29,746 千円	申請に基づく助成者 数	医療費の一部助成
■ 26	29,746 千円	申請に基づく助成者 数	医療費の一部助成

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (特定不妊治療を受けた夫婦)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	20,468千円	25,258千円	延べ184人	H23年度は1年度目に限り3回申請できるため、PRに努める。
23	29,746千円	29,121千円	延べ211人	H24年度は制度を拡充し実施する。1回の治療につき20万円まで、1年度あたり3回までとなるため、PRに努める。
24	36,702千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。
【施策群名】	1-1 親子の健康確保
【施策名】	105 食育の充実 ①子どもを生み育てるための食育の充実 【重点施策】□
【現状と課題】	近年、子どもの食をめぐっては発育・発達の重要な時期にありながら、栄養摂取の偏り、朝食の欠食、思春期における女性のやせの増加など、問題は多様化、深刻化し、生涯にわたる健康への影響が懸念されています。 また、親子のコミュニケーションの場となる食卓において、家族そろって食事をする機会も減少している傾向にあります。 食事や栄養について関心の高まる妊娠中や子育て世代に、食を通じた子どもの健全育成についての啓発を行う必要があります。
【施策の目標】	年齢や発達段階に応じた食生活習慣の改善を図ります。
【対応】	子どもの健全育成を図るため、妊娠中、乳幼児期に応じた、食生活についての知識の提供を行います。
【施策の目標指標】	＜指標＞ ニーズ調査(就学前)「食事や栄養について不安に思っている親」の割合 <20年度実績値> 30.8% <26年度目標値> 0%
【主管課所室】	254000 子ども未来部 00子ども健康課
【関係課所室】	子ども育成課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 105①1 【取組・事業名】 離乳食教室

【事業概要】 乳児の保護者を対象とした教室を開催し、月齢に適した離乳食の進め方、調理の仕方、望ましい食生活についての指導を行います。

【事業の目標】 保護者の離乳食に対する不安や心配ごとの解消に努めるとともに、望ましい食生活習慣の大切さについての理解を促します。

【事業の目標指標】 <指標> 事業アンケート「不安や心配事が解消された人」の割合 <20年度実績値> 82.2% <26年度目標値> 100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	174 千円	80.2%	乳児とその保護者を対象に、それぞれの月齢に合わせた離乳食教室を開催
■ 23	181 千円	85%	乳児とその保護者を対象に、それぞれの月齢に合わせた離乳食教室を開催
■ 24	181 千円	90%	乳児とその保護者を対象に、それぞれの月齢に合わせた離乳食教室を開催
■ 25	181 千円	95%	乳児とその保護者を対象に、それぞれの月齢に合わせた離乳食教室を開催
■ 26	181 千円	100%	乳児とその保護者を対象に、それぞれの月齢に合わせた離乳食教室を開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 0 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	174千円	159千円	「不安や心配事が解消された人」の割合80.2% 参加組数 初期440組 中期259組 後期282組 全期52組	参加申し込み者数が定員を上回っているため、参加者の要望に応えられるよう、定員を増やして実施する必要がある。
23	181千円	181千円	「不安や心配事が解消された人」の割合77.9% 参加組数 初期421組 中期303組 後期300組 全期48組	参加者の要望に応えられるよう、定員を増やして実施した。 24年度は、離乳食開始時の不安や心配事の解消のため、初期離乳食教室に調理実技指導を取り入れ実施する。
24	千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 105①2 【取組・事業名】 幼児食教室

【事業概要】 幼児とその保護者を対象とした教室を開催し、幼児食の進め方、調理の仕方、食育の大切さ、望ましい食習慣についての指導を行います。

【事業の目標】 保護者の幼児食への不安や心配事の解消に努めるとともに、望ましい食生活習慣を身に付けることができるよう支援します。

【事業の目標指標】 <指標> 事業アンケート「不安や心配事が解消された人」の割合 <20年度実績値> 76.7% <26年度目標値> 100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	43 千円	63.4%	幼児とその保護者を対象に、それぞれの月齢合わせた幼児食教室を開催
■ 23	30 千円	70%	幼児とその保護者を対象に、それぞれの月齢合わせた幼児食教室の開催
■ 24	30 千円	80%	幼児とその保護者を対象に、それぞれの月齢合わせた幼児食教室の開催
■ 25	30 千円	90%	幼児とその保護者を対象に、それぞれの月齢合わせた幼児食教室の開催
■ 26	30 千円	100%	幼児とその保護者を対象に、それぞれの月齢合わせた幼児食教室の開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 1 歳～ 4 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	43千円	42千円	「不安や心配事が解消された人」の割合63.4% みんなでもぐもぐ教室52組 ぱくぱく教室26組	実施時期や回数について検討する必要がある。
23	30千円	30千円	「不安や心配事が解消された人」の割合73.9% みんなでもぐもぐ教室56組 ぱくぱく教室12組	参加希望者の少ないぱくぱく教室の実施回数を1回減らして実施した。 24年度は、幅広く幼児食の指導を行うため、対象年齢を拡大して実施する。
24	千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 105①3 【取組・事業名】 マタニティ食生活講座

【事業概要】 妊娠16～35週の妊婦を対象とした講座を開催し、母体の変化に合わせた食事の進め方等についての指導を行います。

【事業の目標】 食事に対する不安や心配事の解消に努めるとともに、母体ならびに生まれてくる子どもの望ましい食生活習慣の確立を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 事業アンケート「不安や心配事が解消した人」の割合 <20年度実績値> 94.4%(21年度実績)
<26年度目標値> 100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/hl/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	34 千円	91.3%	妊娠16週から35週の妊婦を対象とした講座を開催
■ 23	32 千円	93%	概ね妊娠35週の妊婦を対象とした講座を開催
■ 24	32 千円	95%	概ね妊娠35週の妊婦を対象とした講座を開催
■ 25	32 千円	97%	概ね妊娠35週の妊婦を対象とした講座を開催
■ 26	32 千円	100%	概ね妊娠35週の妊婦を対象とした講座を開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	34千円	34千円	「不安や心配事が解消した人」の割合91.3% 参加者数87人	参加者の増加を図るため、妊婦訪問時等で講座のPRに努める。
23	32千円	31千円	「不安や心配事が解消した人」の割合87% 参加者数68人	参加者の増加を図るため、妊婦訪問時等で講座のPRに努める
24	千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 252000 子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No.】 105①4 【取組・事業名】 保育所の給食を通した食育支援

【事業概要】 保育所の給食を通して、子どもが様々な食に関わる体験を積み重ねることにより、食べ物に興味を持ち、食べることの楽しさを実感できる子どもを育成する。また、アレルギー児などへ個別に対応した給食の提供に努める。

【事業の目標】 保育所給食を通して子どもの健全な食生活を実現し、健全な心身の成長を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 給食を摂れない児童の数 <20年度実績値> 0人 <26年度目標値> 0人

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	0人	給食を通した食育、家庭への啓蒙
■ 23	0 千円	0人	給食を通した食育、家庭への啓蒙
■ 24	0 千円	0人	給食を通した食育、家庭への啓蒙
■ 25	0 千円	0人	給食を通した食育、家庭への啓蒙
■ 26	0 千円	0人	給食を通した食育、家庭への啓蒙

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ (保育士)
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 5 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円		家庭への啓蒙を図るとともに、生活や遊びの中で食育の充実に努めた。
23	0千円	0千円		家庭への啓蒙を図るとともに、生活や遊びの中で食育の充実に努めた。
24	千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 252000 子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No.】 105①5 【取組・事業名】 保育所調理師クッキング教室の実施

【事業概要】 在宅の親子を対象として、保育所調理師を講師とする幼児期の食事に関するクッキング教室を開催し、子育て中の親子が気軽に集い交流する機会を提供する。

【事業の目標】 保育所給食の紹介を通して幼児期の望ましい食生活の定着を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 開催回数 <20年度実績値> 3回 <26年度目標値> 4回

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	3回	参加者同士の交流を兼ねたクッキング教室の開催
■ 23	0 千円	3回	参加者同士の交流を兼ねたクッキング教室の開催
■ 24	0 千円	3回	参加者同士の交流を兼ねたクッキング教室の開催
■ 25	0 千円	3回	参加者同士の交流を兼ねたクッキング教室の開催
■ 26	0 千円	4回	参加者同士の交流を兼ねたクッキング教室の開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ (保育士)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円		参加者は献立の中でも食材への興味が増し、食育への関心は高まったと思う。今後も調理師や参加者同士の交流を気軽に楽しみながら続ける。
23	0千円	0千円		調理師や参加者同士の交流を気軽に楽しみながら、食を通じた子どもの健全育成の啓発をはかる。
24	0千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。
【施策群名】	1-1 親子の健康確保
【施策名】	105 食育の充実 ②学校等における食育の推進 【重点施策】□
【現状と課題】	「生きる力」の基本となる「食」については、子ども一人ひとりが、食事の大切さを理解し、主体的に望ましい食生活を営む力を身につけることが大切であると考えます。そのためにも、学校教育における食育の指導体制の確立や指導内容の充実を図るとともに、学校と家庭との連携を図りながら食育の充実を図ることが必要と考えます。
【施策の目標】	児童生徒一人ひとりが、食事の大切さを理解し、望ましい食生活を営む力を身につけるよう、家庭との連携を図りながら食育の充実に努めます。
【対応】	食育をテーマとした課題研究推進校を委嘱し、家庭との連携を含めた学校教育における食育の実践的な研究を進めるとともに、食育にかかる教職員研修会の充実を図ります。 また、食育担当の指導主事による学校訪問指導を通して、食育の指導体制のあり方や、家庭との連携における具体的な手立てなどについて助言します。
【施策の目標指標】	＜指標＞ ①食育に関する学校訪問数 ②食育にかかる教職員研修会の講座数 ＜20年度実績値＞ ①0校 ②1講座 ＜26年度目標値＞ ①26年度までに40校を訪問 ②2講座
【主管課所室】	701500 教育委員会 15学校教育課
【関係課所室】	農林総務課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 701500 教育委員会 04学校教育課

【取組・事業No.】 105②1 【取組・事業名】 学校訪問指導・教職員研修会の充実

【事業概要】 小中学校における食育の充実を図るため、学校訪問指導を通し助言等を行うとともに、食育に関する教職員の資質向上にかかる教職員研修会の充実を図る。

【事業の目標】 児童生徒一人ひとりが、食事の大切さを理解し、望ましい食生活を営む力を身につけるよう、家庭との連携を図りながら食育の充実に努めます。

【事業の目標指標】 <指標> ①食育に関する学校訪問数 ②食育にかかる教職員研修会の講座数 <20年度実績値>
①0校 ②1講座 <26年度目標値> ①26年度までに40校を訪問 ②2講座の実施

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	①7校、②2講座	学校訪問指導、教職員研修会(事業全体の中で本取組の事業費のみを算出することは困難)
■ 23	0 千円	①7校、②2講座	学校訪問指導、教職員研修会(事業全体の中で本取組の事業費のみを算出することは困難)
■ 24	0 千円	①7校、②2講座	学校訪問指導、教職員研修会(事業全体の中で本取組の事業費のみを算出することは困難)
■ 25	0 千円	①7校、②2講座	学校訪問指導、教職員研修会(事業全体の中で本取組の事業費のみを算出することは困難)
■ 26	0 千円	①7校、②2講座	学校訪問指導、教職員研修会(事業全体の中で本取組の事業費のみを算出することは困難)

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (小中学校)
 <子どもの対象年齢> 6 歳 ~ 15 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	①小学校5校、中学校2校を訪問した。 ②「栄養教諭・学校栄養職員研修会」、「食育研修会」を実施した。また、課題研究推進校の取組を参考に食育推進のための実践事例集を作成し、各校に提供した。	①学校規模や栄養職員配置の有無にかかわらず、年次計画で学校訪問指導を実施し、食育の推進に努める。 ②安全安心な学校給食運営と食育推進のために、研修内容の充実を図る。 ①②の推進にあたっては、「実践事例集」の積極的な活用を図る。
23	0千円	0千円		
24	0千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 401000 農林部 11 農林総務課

【取組・事業No.】 105②2 【取組・事業名】 農業体験学習推進対策事業

【事業概要】

子どもたちが農業体験等を通じて「食」への理解を深め、豊かな情操を育むことを目的に小学校等が実施する農業体験学習に対し助成する。
また、奥椿岱地区第一市民農園の利用団体を対象に、農業体験等を通じた食育活動を支援する。

【事業の目標】

農業体験学習を通じ、自然の恩恵や農業者の様々な知恵や活動を学ぶことで、「食」に関する感謝の気持ちと理解を身につけるよう、学校関係者や協力農家と連携し、食育の推進を図ります。

【事業の目標指標】

＜指標＞ 事業を実施した学校の累計数 ＜20年度実績値＞ 14校 ＜26年度目標値＞ 0校

【関係データ】

【関係HP】

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/mn/taiken-gakusyu.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	400 千円	実施校18校	小学校4校、幼稚園1校に助成
■ 23	400 千円	実施校19校	〃
■ 24	240 千円	実施校21校	小学校2校、幼稚園1校に助成
■ 25	80 千円	実施校23校	小学校1校に助成
■ 26	0 千円		

【事業対象の区分】

☒ 子ども
 ☐ 若者
 ☐ 妊婦
 ☐ 産婦
 ☐ 父親
 ☐ 母親
 ☐ 他の区分 ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 3 歳～ 12 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	400千円	400千円	小学校4校、幼稚園1校に対し補助金を交付した。	農業体験学習に協力してもらえる農業者が限られ、学校側へ提供できる情報が少ない。JAなどの連携を強化し、農業者の情報を集める必要がある。
23	400千円	400千円	小学校4校、幼稚園1校に対し補助金を交付した。	
24	千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

施策管理シート

【章】 1 親子の心身の健康確保

【基本目標】 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。

【施策群名】 1-2 要保護児童対策

【施策名】 106 児童虐待防止対策の充実 【重点施策】 ■

【現状と課題】

児童虐待は、新聞やテレビ、ラジオなどの報道に毎日のように取り上げられ、大きな社会問題となっております。全国の児童相談所に寄せられた児童虐待の相談件数は平成19年度に4万件を突破し、その後も増加傾向が続いております。

本市においても、子ども未来センターに寄せられた相談件数は、平成18年度73件、19年度99件、20年度113件となっており年々増加傾向にあります。増加の要因としては、家族・地域社会の変容から養育力の低下が著しく、親の育児に対する負担感の増大などが生じており、その結果深刻な育児不安や虐待に結びついているものと推測されます。増加する虐待問題に早期に対応するため、平成16年には児童福祉法が改正され、市町村が児童虐待の通告先として加わるなど、法整備が進められてきました。

しかし、虐待の防止には、「子どもの人権を守る」という一人ひとりの強い意識が不可欠です。市民への啓発活動を推進する必要があります。また、児童虐待問題は家族の複合的な要因から生ずる、家族の構造的な問題です。日常的に家族と関わっている一つの機関による、一時的な助言や経過観察に加え、関係機関同士の連携の強化と市民や地域ぐるみの努力が必要となっています。

【施策の目標】 児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応の推進を図ります。

【対応】

複雑な背景を持つ児童虐待問題にも十分対応できるように、職員および相談員が内部・外部の研修を重ね、資質向上を図るなど相談体制の強化に努めます。

また、要保護児童対策地域協議会の活動を通して、関係機関等の連携を強化するとともに、協議会構成員が各所属機関、団体で児童虐待防止の指導的役割を担い、各機関、団体における児童虐待への対応力を向上させるよう努めるほか、市民への意識啓発を図るために虐待防止推進フォーラムを開催するなどし、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応の推進を図ります。

【施策の目標指標】 <指標> 虐待相談実件数 <20年度実績値> 113件 <26年度目標値> 144件

【主管課所室】 255000 子ども未来部 00子ども未来センター

【関係課所室】 子ども健康課、保護課、子ども育成課、健康管理課、学校教育課

取組・事業検証シート

【部局課所室】 255000 子ども未来部 70子ども未来センター

【取組・事業No.】 1061 【取組・事業名】 要保護児童対策地域協議会

【事業概要】 児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応を図るため、要保護児童対策地域協議会を運営し、関係機関との連携強化や支援体制を整備する。

【事業の目標】 児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応の推進を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 会議開催回数 <20年度実績値> 10回 <26年度目標値> 22回

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.mhlw.go.jp/>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	1,086 千円	10	要保護児童対策地域協議会の開催
■ 23	1,000 千円	11	要保護児童対策地域協議会の開催
■ 24	1,000 千円	15	要保護児童対策地域協議会の開催
■ 25	1,000 千円	19	要保護児童対策地域協議会の開催
■ 26	1,000 千円	22	要保護児童対策地域協議会の開催

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	1,086千円	841千円	代表者会議2回、実務者会議4回、進行管理部会4回計10回実施	既存の会議については、会議内容の充実を図っていく。また、実務者会議については、会議の開催スタイル、回数等を検討していく。
23	6,327千円	5,456千円	代表者会議2回、実務者会議4回、進行管理部会4回、個別ケース検討会議17回のほか子育て支援者向けの研修会1回、一般市民向けの虐待防止イベント1回実施	協議会の機能をより一層強化する必要があることから、各会議内容の充実を図り、機関連携の強化を図る。また、虐待防止啓発についても積極的に研修会、勉強会、イベント等を実施していく。
24	1,767千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 255000 子ども未来部 70子ども未来センター

【取組・事業No.】 1062 【取組・事業名】 児童家庭相談

【事業概要】 子どもの最善の利益を考慮し、子ども及びその家庭の相談に応じ、保護者も含めた支援により子どもの福祉の向上を図る。また、児童虐待の早期発見、早期対応等、適切な援助を実施する。

【事業の目標】 家庭における適正な児童養育の推進を図るため、児童家庭相談に適切に対応します。

【事業の目標指標】 <指標> 相談件数 <20年度実績値> 5,950件 <26年度目標値> 6,772件

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	18,954 千円	6,224件	児童家庭相談の実施 事業費は子ども未来センター運営費の一部
■ 23	18,847 千円	6,361件	児童家庭相談の実施 事業費は子ども未来センター運営費の一部
■ 24	18,847 千円	6,498件	児童家庭相談の実施 事業費は子ども未来センター運営費の一部
■ 25	18,847 千円	6,635件	児童家庭相談の実施 事業費は子ども未来センター運営費の一部
■ 26	18,847 千円	6,772件	児童家庭相談の実施 事業費は子ども未来センター運営費の一部

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	20,958千円	18,954千円	4,862件	相談体制の強化に努め、児童家庭相談に適切に対応する。
23	18,847千円	18,279千円	3,508件	相談体制の強化に努め、児童家庭相談に適切に対応する。
24	17,896千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 255000 子ども未来部 70子ども未来センター

【取組・事業No.】 1063 【取組・事業名】 養育支援訪問事業

【事業概要】

育児に関して不安や孤立感を抱えたり、食事等の生活環境が不適切な養育状態にあるなど、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、支援者がその居宅を訪問し、養育に関する具体的な指導、助言等を行うことにより、適切な養育環境を確保する。

【事業の目標】

家庭を取り巻く関係機関が連携して養育支援が必要な家庭を早期発見し、本事業につなげ、各家庭の養育状況に応じた具体的な助言・指導等早期対応することにより児童虐待の未然防止を図ります。

【事業の目標指標】

＜指標＞ 入所措置決定者数 ＜20年度実績値＞ 10人 ＜26年度目標値＞ 6人

【関係データ】

【関係HP】

<http://www.mhlw.go.jp>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	525 千円	10人	育児支援・家事援助の実施
■ 23	2,184 千円	9人	育児支援・家事援助の実施
■ 24	690 千円	8人	育児支援・家事援助の実施
■ 25	690 千円	7人	育児支援・家事援助の実施
■ 26	690 千円	6人	育児支援・家事援助の実施

【事業対象の区分】

子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☒ 産婦 ☒ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
 ＜子どもの対象年齢＞ 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	840千円	525千円	17世帯に育児支援・家事援助を実施した。	支援限度(時間、頻度)の見直しを図り、当該世帯の状況にあった支援を行えるよう改善する
23	2,184千円	1,570千円	18世帯に育児支援・家事援助を実施した。	適切な支援ができるよう養育支援員と専門的相談にあたる者の情報共有と同行訪問を推進する
24	754千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 254000 子ども未来部 50子ども健康課

【取組・事業No.】 1064 【取組・事業名】 こんにちは赤ちゃん訪問事業(再掲)

【事業概要】 生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する助言、情報提供や状況に応じた育児サービス紹介等を行う。

【事業の目標】 産後間もない時期に訪問し、育児不安の軽減と適切な支援を行います。

【事業の目標指標】 <指標> ①ニーズ調査(就学前)「子育てに関しての不安や負担を感じている親」の割合②訪問実施率
<20年度実績値> ①76.5%②77.1% <26年度目標値> ①減少②100%

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/hl/pr/boshi/sinhou.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	6,479 千円	②80%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 23	6,433 千円	②85%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 24	6,433 千円	②90%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 25	6,433 千円	②95%	対象児のいる家庭の全戸訪問
■ 26	6,433 千円	①69%②100%	対象児のいる家庭の全戸訪問

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 0 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	6,433千円	6,479千円	訪問実施者数(実施率) 1,885人(81.7%)	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
23	6,749千円	6,692千円	訪問実施者数(実施率) 1,978人(84.2%)	訪問対象者のほか、市民全体へ広く事業のPRを行う。
24	7,385千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保	
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。	
【施策群名】	1-2 要保護児童対策	
【施策名】	107 ひとり親家庭等の自立支援の推進	【重点施策】 ☐
【現状と課題】	長引く経済的不況、景気の低迷による厳しい雇用情勢の中で、特にひとり親家庭の母は、生計を支える基盤が非常に脆弱である場合が多いことから、就業支援を柱とした総合的な自立支援が必要とされており、自立促進のための資格取得講座の開催や、資格取得講座の受講料の補助など就職に有利な資格取得を総合的に支援する必要があります。	
【施策の目標】	就業支援を柱とする総合的自立支援策を講じます。	
【対応】	ひとり親家庭の母の経済的自立に結びつけることを目的に、就職に必要な技術等を習得させるための講座の開催や、市が認める講座の受講料の一部補助を行うとともに、高等技能訓練修業期間中の負担軽減のために、生活費の一部を支給します。	
【施策の目標指標】	＜指標＞ 講座受講者数 ＜20年度実績値＞ 74人 ＜26年度目標値＞ 80人	
【主管課所室】	250000 子ども未来部 00子ども総務課	
【関係課所室】	商工労働課	

取組・事業検証シート

【部局課所室】 251000 子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No.】 1071 【取組・事業名】 ひとり親家庭自立支援事業

【事業概要】

ひとり親家庭の親は、生計を支える基盤が脆弱であり、就業支援を柱とした総合的な自立支援が必要とされていることから、就職・転職に役立つ資格取得講座を開催するとともに、民間で行っている講座を受講した際の受講料を補助する自立支援教育訓練給付金事業を実施する。また、母子家庭の母の就労支援として、安定的に増収が見込める資格取得を支援する高等技能訓練促進費事業を実施する。

【事業の目標】

ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するための総合的な自立支援策を行い、ひとり親家庭の自立促進を図ります。

【事業の目標指標】

＜指標＞ ①資格取得講座受講者数 ②自立支援教育訓練給付金対象者数 ＜20年度実績値＞ ①66人 ②8人 ＜26年度目標値＞ ①70人 ②10人

【関係データ】

【関係HP】

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/bs/shien/jiritusienn.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	4,697 千円	①70人②5人	各種媒体や日常の相談の場において利用促進を図り、受講者を増やす
■ 23	4,697 千円	①70人②5人	各種媒体や日常の相談の場において利用促進を図り、受講者を増やす
■ 24	4,697 千円	①70人②10人	各種媒体や日常の相談の場において利用促進を図り、受講者を増やす
■ 25	4,697 千円	①70人②10人	各種媒体や日常の相談の場において利用促進を図り、受講者を増やす
■ 26	4,697 千円	①70人②10人	各種媒体や日常の相談の場において利用促進を図り、受講者を増やす

【事業対象の区分】

☐ 子ども
 ☐ 若者
 ☐ 妊婦
 ☐ 産婦
 ☐ 父親
 ☐ 母親
 ☒ 他の区分 (ひとり親世帯)

＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	4,697千円	2,938千円	①37人②3人	これまでの利用実績と財政状況を踏まえ、資格取得講座については、事業規模が縮小傾向にある。
23	9,033千円	8,091千円	①42人②5人	受講者数に若干の増加が見られたが、引き続き制度の周知に努めることとする。
24	7,615千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 251000 子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No.】 1072 【取組・事業名】 母子寡婦福祉資金貸付事業

【事業概要】 母子家庭および寡婦の経済的自立と児童の福祉向上のため、修学資金・就学支度資金等を貸し付ける。

【事業の目標】 母子家庭および寡婦の経済的自立と児童の福祉の向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 貸付件数 <20年度実績値> 100件 <26年度目標値> 100件

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/ch/sikinn.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	62,748 千円	141件	母子・寡婦家庭に対して、経済的自立と児童の福祉のために、修学資金や就学支度資金等を貸し付ける
■ 23	80,126 千円	160件	
■ 24	80,126 千円	160件	
■ 25	80,126 千円	160件	
■ 26	80,126 千円	160件	

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☒ (母子家庭および寡婦)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	77,480千円	62,748千円	貸付件数141件	未収金が増加しており、滞納者への償還指導を行い、改善に努める。
23	80,126千円	59,114千円	貸付件数121件	未収金が増加しており、滞納者への償還指導を行い、改善に努める。
24	79,901千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 251000 子ども未来部 10子ども総務課

【取組・事業No.】 1073 【取組・事業名】 児童扶養手当支給

【事業概要】 父または母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し児童の福祉の向上を図る。

【事業の目標】 母子、父子家庭の経済的自立を支援します。

【事業の目標指標】 <指標> 申請に基づく受給者数 <20年度実績値> 2,838人 <26年度目標値> 申請に基づき給付する

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ch/bs/shien/jifu.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	1,291,933 千円	3,063人	児童扶養手当を給付した
■ 23	1,345,793 千円	3,086人	〃
■ 24	1,402,282 千円	申請に基づき給付する	〃
■ 25	1,402,282 千円	申請に基づき給付する	
■ 26	1,402,282 千円	申請に基づき給付する	

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒

（離婚等により父や母と生計を同一にしていなかった児童のほか、父か母が障害者である場合の児童について、その児童を監護する父又は母、父母に代わって児童を養育している者）

<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	1,291,992千円	1,291,933千円	3,063人	22年8月から、それまで支給対象となっていなかった父子家庭も支給対象となった。
23	1,346,364千円	1,345,793千円	3,086人	1世帯の児童扶養手当額が増額していることから所得がさがったことがわかる。安定した収入を得るための就労支援が重要である
24	1,402,282千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 357000 商工部 15商工労働課

【取組・事業No.】 1074 【取組・事業名】 就業支援事業

【事業概要】 求職者が仕事に就くために必要な技術等を習得し、就業の促進を図る。

【事業の目標】 受講者の就職を支援します。

【事業の目標指標】 <指標> 受講者の就職者数 <20年度実績値> 0人(市単事業としては実施せず) <26年度目標値> 100人

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	1,272 千円	33人	求職者就職支援講座の実施 (就職に必要なスキル等の習得)
■ 23	3,688 千円	20人	求職者就職支援講座の実施 (就職に必要なスキル等の習得)
■ 24	3,688 千円	20人	求職者就職支援講座の実施 (就職に必要なスキル等の習得)
■ 25	3,688 千円	20人	求職者就職支援講座の実施 (就職に必要なスキル等の習得)
■ 26	3,688 千円	20人	求職者就職支援講座の実施 (就職に必要なスキル等の習得)

【事業対象の区分】 子ども ☐ 若者 ☒ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☒ 母親 ☒ 他の区分 ☐ ()
<子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	5,532千円	1,272千円	7講座33人受講	受講者が要望する講座内容とのマッチングが必要である
23	3,688千円	1,797千円	11講座47人受講	23年度で終了
24	0千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

施策管理シート

【章】	1 親子の心身の健康確保
【基本目標】	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、親子の健康確保に努めるとともに、特に支援を必要とする子育て家庭をサポートします。
【施策群名】	1-2 要保護児童対策
【施策名】	108 障がいのある子どもに対する支援 【重点施策】□
【現状と課題】	本市の障がい児数については、ここ数年大きな変化はありませんが、障がいのある子どもを持つ親の多くは、子どもの成長や将来について大きな不安や悩みを抱えながら子育てをしています。本市では障がい児者が地域で充実した生活ができるよう「第3次秋田市障害者プラン」等に基づき、障がい児者に対する福祉施策を推進しています。なお、国においては、平成18年に施行された「障害者自立支援法」の廃止が検討されており、改正後の制度への対応が必要となります。
【施策の目標】	障がい児が地域で充実した生活ができるよう支援します。
【対応】	障がいのある子どもが健やかに育ち、地域で充実した生活ができるよう必要とするサービスを提供するとともに、国の障がい児者施策の動向を注視しながら適切に対応します。
【施策の目標指標】	＜指標＞ 障がい福祉サービス等を必要とする障がい児に対する当該サービスの提供率 ＜20年度実績値＞ 100% ＜26年度目標値＞ 100%
【主管課所室】	202000 福祉保健部 20障がい福祉課
【関係課所室】	子ども育成課、生涯学習室

取組・事業検証シート

【部局課所室】 202000 福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No.】 1081 【取組・事業名】 重症心身障害児者通園事業

【事業概要】

在宅の重症心身障がい児者に対し、機能低下の防止および発達を促すことを目的として秋田県立医療療育センターが実施するサービス*を本市在住の重症心身障がい児が受けられるようにするため、本市分の負担金を支払うとともに利用申請事務を行う。
(*看護師、児童指導員または保育士、理学療法・作業療法・言語療法等を担当する職員を配置し、日常生活動作、運動機能等に係る訓練、指導等の必要な療育を行う)

【事業の目標】

秋田県立医療療育センターに通園することにより在宅の重症心身障がい児が、日常生活動作、運動機能に係る訓練、指導等の必要な養育を受け、機能低下の防止および発達が促されるサービスを受ける申請等に対し、迅速かつ適切に処理します。

【事業の目標指標】

＜指標＞ 利用希望者に対するサービス提供率 ＜20年度実績値＞ 100% ＜26年度目標値＞ 100%

【関係データ】

平成23年度3月現在、秋田市からの登録者15人。

【関係HP】

<http://www.airc.or.jp/ryouiku/jyushintsuuen.html>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	205 千円	100%	重症心身障がい児者通園事業の運営費を負担する。
■ 23	626 千円	100%	重症心身障がい児者通園事業の運営費を負担する。
□ 24	千円		
□ 25	千円		
□ 26	千円		

【事業対象の区分】

☐ 子ども ☐ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☒ 他の区分 (重症心身障害児者)
 ＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	696千円	205千円	100%	現行サービスレベルの維持を基本に、今後の法制度の改正等を注視し、必要に応じて見直しを行っていく。
23	626千円	232千円	100%	制度改正で障害福祉サービスに移行することにより事業終了
24	千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 202000 福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No.】 1082 【取組・事業名】 日中一時支援事業(放課後支援型)

【事業概要】 障がいのある小中高生が特別支援学校下校後および夏休み等長期休暇中に活動する場が確保されるとともに、障がい児を持つ保護者の負担が軽減され就労しやすくするため、放課後支援型の日中一時支援室(通称)を設置する。

【事業の目標】 利用希望者全員が安全にかつ速やかに利用できるようにします。

【事業の目標指標】 <指標> 利用希望者の受入数 <20年度実績値> 25人 <26年度目標値> 38人

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/sc/tiikiseikatusien.htm#5nittyuu>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	10,239 千円	32人	特別支援学校に通学する小中高生が放課後および長期休暇中に活動する場を確保する。
■ 23	10,384 千円	34人	特別支援学校に通学する小中高生が放課後および長期休暇中に活動する場を確保する。
■ 24	12,254 千円	34人	特別支援学校に通学する小中高生が放課後および長期休暇中に活動する場を確保する。
■ 25	12,254 千円	34人	特別支援学校に通学する小中高生が放課後および長期休暇中に活動する場を確保する。
■ 26	12,254 千円	38人	特別支援学校に通学する小中高生が放課後および長期休暇中に活動する場を確保する。

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 6 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	11,414千円	10,239千円	利用者数33人	共働き家庭の増加に伴い、利用希望者が増えている。学校側や委託事業者との調整・協議が必要である。
23	11,416千円	10,384千円	利用者数34人	共働き家庭の増加に伴い、利用希望者が増えている。学校側や委託事業者との調整・協議が必要である。
24	12,254千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 202000 福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No.】 1083 【取組・事業名】 障害者自立支援法における障害福祉サービスの提供

【事業概要】

障がい児が地域で充実した生活ができるよう、障害福祉サービスおよび児童発達支援等のサービスを提供する。
平成18年10月に施行された障害者自立支援法に基づいて、障がい児に対して実施している障害福祉サービスは、居宅介護と短期入所があり、また、平成24年4月から児童福祉法の改正により、市町村が障害児通所支援の実施主体となり、児童発達支援、放課後等デイサービス等を提供する。

1. 居宅介護
居宅において、入浴や排せつ、食事等の介護、その他生活全般にわたって援助を行うサービス
2. 短期入所
居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、障害者支援施設、児童福祉施設等への短期間の入所を必要とする障がい児につき、当該施設に短期間の入所をさせて、入浴、排せつおよび食事の介護その他の必要な支援を行うサービス
3. 児童発達支援、放課後等デイサービス
日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練、社会との交流の促進などのサービスが受けられる。

【事業の目標】

支援を必要としている障がい児に対して適切かつ迅速に障害福祉サービスを提供します。

【事業の目標指標】

<指標> 利用申請に対する提供率 <20年度実績値> 100% <26年度目標値> 100%

【関係データ】

平成23年度末現在で支給決定をしている児童数は、居宅介護6人、短期入所65人、児童デイサービス74人となっている。

【関係HP】

<http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/sc/jiritushien.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	3,309,003 千円	100%	障害者保護費
■ 23	3,489,651 千円	100%	障害者保護費
■ 24	3,877,954 千円	100%	障害者保護費
■ 25	3,877,954 千円	100%	障害者保護費
■ 26	3,877,954 千円	100%	障害者保護費

【事業対象の区分】

子ども ☒ 若者 ☐ 妊婦 ☐ 産婦 ☐ 父親 ☐ 母親 ☐ 他の区分 ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 17 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	3,384,717千円	3,309,003千円	100%	本市内としては初となる児童デイサービス事業所が1事業所開所した。
23	3,664,144千円	3,645,156千円	100%	
24	3,877,954千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 202000 福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No.】 1084 【取組・事業名】 各種サービスの情報提供

【事業概要】

支援を必要とする障がい児および保護者が、必要な各種福祉サービスの情報を容易に得られるようにするため、各種障害福祉サービスの情報を掲載した「障がい者のためのくらしのしおり」を作成し、市役所や支所等の公共施設に設置する。また、同しおりを秋田市ホームページへ掲載する。

【事業の目標】

「障がい者のためのくらしのしおり」やホームページなどをより使いやすくし、情報を入手しやすくします。

【事業の目標指標】

＜指標＞ サービス情報提供不足に関するクレーム、要望数 件 <20年度実績値> - <26年度目標値> 0

【関係データ】

【関係HP】

<http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/guide/handicap/default.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	996 千円	0件	障がい者のためのくらしのしおりの発行
■ 23	1,000 千円	0件	障がい者のためのくらしのしおりの発行
■ 24	1,000 千円	0件	障がい者のためのくらしのしおりの発行
■ 25	1,000 千円	0件	障がい者のためのくらしのしおりの発行
■ 26	1,000 千円	0件	障がい者のためのくらしのしおりの発行

【事業対象の区分】

☒ 子ども
 ☒ 若者
 ☒ 妊婦
 ☒ 産婦
 ☒ 父親
 ☒ 母親
 ☒ 他の区分
 (障害児・者)

＜子どもの対象年齢＞ 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	1,000千円	996千円	0件	関連情報をよりわかりやすくかつ迅速に提供する取組を継続する。
23	1,000千円	996千円		
24	千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 202000 福祉保健部 20障がい福祉課

【取組・事業No.】 1085 【取組・事業名】 障害児等療育支援事業

【事業概要】 在宅の知的障がい児の療育に関する相談に対応するため、指定相談事業所等の相談窓口を設置する。

【事業の目標】 療育に関する相談ができずに悩んでいる人を減らします。

【事業の目標指標】 <指標> 障がい児の療育に係る相談に対する対応率 <20年度実績値> 100% <26年度目標値> 100%

【関係データ】 平成23年度 対応者数53人 支援件数1,653件

【関係HP】 <http://www.ikumei.or.jp/frame-sienjigyoku.htm>

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	31,251 千円	100%	相談支援事業全体額
■ 23	40,526 千円	100%	相談支援事業全体額
■ 24	39,603 千円	100%	相談支援事業全体額
■ 25	40,526 千円	100%	相談支援事業全体額
■ 26	40,526 千円	100%	相談支援事業全体額

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (障害児者)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	31,251千円	31,251千円	対応率100%	在宅の障がい児の療育に係る相談に対応するため取組を継続する。
23	40,526千円	40,526千円	対応率100%	在宅の障がい児の療育に係る相談に対応するため取組を継続する。
24	39,603千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 252000 子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No.】 1086 【取組・事業名】 公立保育所障がい児保育事業

【事業概要】 公立保育所において障がい児の受入れを円滑化し、障がい児保育の充実を図るため、必要な保育士を配置する。

【事業の目標】 障がいの程度に関わらず、児童一人ひとりの状況等把握し保育を実施するほか、保護者に対しても支援を行っていきます。

【事業の目標指標】 <指標> 受入児童数 <20年度実績値> 27人 <26年度目標値> 24人

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	30,205 千円	7人	障がい児受け入れに伴う保育士の加配
■ 23	30,944 千円	10人	障がい児受け入れに伴う保育士の加配
■ 24	34,988 千円	15人	障がい児受け入れに伴う保育士の加配
■ 25	34,988 千円	20人	障がい児受け入れに伴う保育士の加配
■ 26	34,988 千円	24人	障がい児受け入れに伴う保育士の加配

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (保育士)
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 5 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	34,425千円	30,205千円	4施設で7人を受け入れ	増加傾向にある障がい児の受け入れに応じた保育士を確保する。
23	30,944千円	22,692千円		増加傾向にある障がい児の受け入れに応じた保育士を確保する。
24	34,988千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 252000 子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No.】 1087 【取組・事業名】 私立保育所障がい児保育事業

【事業概要】 私立保育所において障がい児の受入れを円滑化し、障がい児保育の充実を図るため、必要な保育士を配置するための補助金を交付する。

【事業の目標】 保育を希望する全ての就学前児童が、障がいの有無にかかわらず、保育を受けることができる環境の整備を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 受入施設数 <20年度実績値> 15施設 <26年度目標値> 18施設

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	23,732 千円	21施設	保育を希望する全ての障がい児を受け入れる。
■ 23	20,130 千円	20施設	保育を希望する全ての障がい児を受け入れる。
■ 24	23,244 千円	21施設	保育を希望する全ての障がい児を受け入れる。
■ 25	23,244 千円	21施設	保育を希望する全ての障がい児を受け入れる。
■ 26	23,244 千円	21施設	保育を希望する全ての障がい児を受け入れる。

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 0 歳～ 5 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	23,977千円	23,732千円	21施設で36人を受け入れ	増加傾向にある障がい児の受け入れ基盤の充実を図る。 なお、目標指標の推移見込みが既に26年度目標値を上回る実績となっており、対象者の増や受け入れ基盤の整備等が予定よりも早く進んでいる。
23	26,182千円	20,130千円	20施設で31人を受け入れ	集団保育が可能で保育を希望する中度、軽度障害児の受入れに対応できるよう基盤の充実を図る。
24	31,940千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 252000 子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No.】 1088 【取組・事業名】 保育士サポート研修

【事業概要】 関係機関との連携のもとに、公立・私立保育所の保育士を対象として、障がい児の保育等個別ケースについて研究、講演会、施設見学、協議などの研修を行う。

【事業の目標】 障がい児のみならず、「気になる子」およびその保護者に対する個別の支援を実施できるよう保育士の資質向上を図ります。

【事業の目標指標】 <指標> 開催回数 <20年度実績値> 12回 <26年度目標値> 12回

【関係データ】

【関係HP】

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の 推移見込み	実施内容
■ 22	0 千円	12回	関係機関と連携した研修の実施
■ 23	0 千円	12回	関係機関と連携した研修の実施
■ 24	0 千円	12回	関係機関と連携した研修の実施
■ 25	0 千円	12回	関係機関と連携した研修の実施
■ 26	0 千円	12回	関係機関と連携した研修の実施

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ (保育士)
 <子どもの対象年齢> 歳～ 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	0千円	0千円	12回	支援施設との連携を密にし、具体的な手立てを学ぶことにより、よりよい個別の支援ができるよう努めた。
23	0千円	0千円	8回	支援施設との連携を密にし、具体的な手立てを学ぶことにより、よりよい個別の支援ができるよう努めた。
24	0千円	0千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		

取組・事業検証シート

【部局課所室】 252000 子ども未来部 20子ども育成課

【取組・事業No.】 1089 【取組・事業名】 放課後児童健全育成事業

【事業概要】 放課後児童クラブのうち、特別支援学級在籍児童等を受け入れているクラブに対し、委託料の運営基本額に障がい児受入れに要する経費の一部を加算し、障がい児の受入れを促進する。

【事業の目標】 障がい児の受入れ体制を整備、促進します。

【事業の目標指標】 <指標> 障がい児受入クラブ数 <20年度実績値> 9クラブ <26年度目標値> 17クラブ

【関係データ】

【関係HP】 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/lf/houkagogidou.htm>

【実施計画】

年度	事業費	目標指標の推移見込み	実施内容
■ 22	6,969 千円	11クラブ	特別支援在籍児童等を受け入れる放課後児童クラブの委託料に受け入れ経費の一部を加算する。
■ 23	9,366 千円	14クラブ	〃
■ 24	10,035 千円	15クラブ	〃
■ 25	10,704 千円	16クラブ	〃
■ 26	11,373 千円	17クラブ	〃

【事業対象の区分】 子ども 若者 妊婦 産婦 父親 母親 他の区分
☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ()
 <子どもの対象年齢> 6 歳～ 12 歳

年度	予算	決算(見込み)	事業実績	課題・改善点・対応方針等
22	7,359千円	6,969千円	11クラブ	新規開設を予定しているクラブは、ほとんどが障がい児の受入を想定している。放課後児童クラブの登録児童の増加に伴い、障がい児の需要も年々増加しているものと考えられるが、クラブ側の受入体制を充実させるためには加算額の増額等の支援策が必要である。
23	9,366千円	7,359千円	11クラブ	放課後児童クラブの登録児童の増加に伴い、障がい児の需要も年々増加しているものと考えられるが、クラブ側の受入体制を充実させるためには加算額の増額等の支援策が必要である。
24	9,366千円	千円		
25	千円	千円		
26	千円	千円		